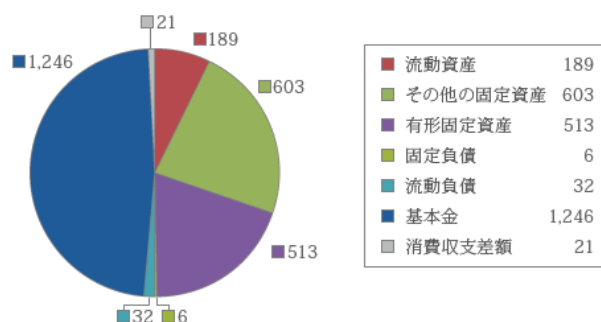


H23.3.31現在の本学資産構成は下記の通りです。



将来にわたる安定した教育環境を維持できるよう負債を減らし、内部留保の厚い安定した財務内容構築に努力しています。

貸借対照表（単位：百万円）

H23.3.31現在の本学資産構成は下記の通りです。

資産の部		平成23年3月31日		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	111,628	106,367	5,261	
有形固定資産	51,323	51,419	-96	
その他の固定資産	60,305	54,948	5,357	
流動資産	18,945	17,645	1,300	
資産の部合計	130,573	124,012	6,561	

負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	665	637	28	
流動負債	3,192	3,249	-57	
負債の部合計	3,857	3,886	-29	

基本金の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
基本金の部合計	124,612	117,145	7,467	

消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
翌年度消費収支超過額	2,104	2,981	-877	
消費収支差額の部合計	2,104	2,981	-877	

科目	本年度末	前年度末	増減	
負債・基本金・消費収支差額の部合計	130,573	124,012	6,561	

主要財務指標			
項目	本学	全国平均※	差異
■ 固定比率	88.1%	100%	-11.9%
□ 流動比率	593.5%	232.7%	360.8%
□ 自己資金構成比率	97.0%	86.8%	10.2%
■ 総負債比率	3.0%	13.2%	-10.2%
■ 負債比率	3.0%	15.2%	-12.2%

□：高い値が良い比率
■：低い値が良い比率
※平成21年度私立大学法人（医歯系法人を除く）の平均

- 施設を充実させるため、設備投資を積極的に行っています。
最近では、池袋1号館取得：平成21年度 中野校舎：平成24年度竣工予定（建設中）
- 負債額の大きな増減はありません。
- 教育・研究等の諸活動に不可欠な資金を充実するため、計画的な基本金の組入れを実施しています。
- 財務内容の健全性確保に努力し、引続き良好な水準を維持しています。
 - 固定比率（＝有形固定資産／自己資金）は88.1%と100%を下回っており、固定資産はすべて自己資金で賄われています。
 - 流動比率（＝流動資産／流動負債）は593.5%ですが、一般に200%以上であれば優良とみなされま
 - 自己資金構成比率（＝自己資金／総資金）は97.0%と高く、財政的に安定しています。
 - 総負債比率（＝総負債／総資産）は低いほど良いが、本学は3.0%と低い値を維持しています。
 - 負債比率（＝総負債／自己資金）も3.0%と低い値を維持しています。なお、借入金の残高はありません。

平成22年度の財務情報は、私立大学法第47条の規定に基づいて帝京平成大学本部会計課に備え置き、利害関係人の閲覧に供しております。